

施策評価シート（令和3年度 実績）

基本目標	地域産業の振興を図り、仕事を生み出しやすい環境をつくる
------	-----------------------------

施策評価（施策主管部長）

施策	地域商工業の活性化		評価者	都市部長		
施策内容	町内の産業の活性化を図るため、商工会等と連携し、起業及び経営支援を行うとともに、地域資源の活用や地域ブランドの育成により、新たな魅力の創出を促進します。また、キャッシュレス決済やコワーキングスペースなど、新しい時代の流れに沿った多様な働き方に対応した環境整備について検討していきます。					
主な事業	予算等事業名		行政評価結果	KPI達成への有効性	説明	
	1	商工業振興対策経費	適当	有効だった	事業継続支援などの補助事業を実施し、事業者を支援した。	
	2	中小企業金融対策事業	適当	有効だった	令和2年度に引き続き事業者支援を推進した。	
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	起業相談件数（件）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	22	20	20	20	A
	実績		20	30	-	
	分析	計画通り推進できた。				
方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案		-		
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	二宮ブランドの新規認定商品数（件）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	3	3	3	3	D
	実績		0	0	-	
	分析	コロナ禍のため、当該年度の二宮ブランドの認定審査会が開催されなかったことにより実績はなかった。				
方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案		-		
重要業績評価指標 (KPI) ③	指標名	中小企業融資件数（件）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	11	30	10	10	A
	実績		20	11	-	
	分析	国の事業継続支援等が実施されたことで前年度より融資件数は減少したが、ほぼ計画どおりの実績があった。				
方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案		-		

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響に対する補助事業（第2弾事業継続支援、プレミアム商品券）を実施し、事業者への支援を図った。</li> <li>令和2年度に拡充した利子補助制度や信用保証料補助制度は終了したが、引き続き融資総額は維持し、事業支援に努めた。</li> </ul>			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>①商工業の活性化については、コロナ禍以前の状況まで回復することは容易でないため、今後も継続的な支援を推進していく必要がある。</li> <li>②二宮ブランドは、コロナ禍以前の新規認定件数を維持できるよう事業者との調整が必要である。</li> </ul>			
	改善点 (課題番号に対応)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①事業者がどのような支援を望んでいるのかニーズを的確に捉え、その上で次なる支援策を実施していく。</li> <li>②二宮ブランドについては、商工会及び事業者と連携を図り、新規認定に努める。</li> </ul>			
	評価	<input type="checkbox"/>	地方創生に非常に効果的であった	<input checked="" type="checkbox"/>	地方創生に相当程度効果があった
		<input type="checkbox"/>	地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>	地方創生に対して効果がなかった

外部評価（二宮町政策評価委員会）

施策評価	<input checked="" type="checkbox"/>	施策実現に向け対象や規模等の拡充が必要	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け順調であるため継続実施
	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け課題があるため見直しが必要		
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>●二宮ブランドは、認定されることのメリットを大きく、わかりやすくすることで事業者の認定への意欲を増大させブランド数の充実を図るとともに、玉ねぎや落花生といった地元の特産品に改めて目を向けたり、近隣自治体と協力して広域的にブランド化を進めたりするなどして、プロモーション方法を検討していく必要がある。</li> <li>●KPIは、「申請のための登録者数」や「申請のための相談件数」、「二宮ブランドの認知度」など、認知度をあげるための取り組みを推進するための指標を設定してもよいと考える。</li> <li>●現在のKPIがアウトプット指標だけなので、事業の効果を明確にするため、起業支援や経営支援を行った企業から数値の提供を得るなどして、雇用創出数や出荷高、観光消費額などのアウトカム指標を設定するとよい。</li> </ul>			

今後の方針（二宮町総合戦略推進本部）

各事業の 今後の方向性	予算等事業名		行政評価の 方向性	総合戦略	
				方向性	特記事項
各事業の 今後の方向性	1	商工業振興対策経費 (担当課：産業振興課)	現状維持	継続推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二宮ブランドは、商工会や事業者との連携を強化するとともに、認定されるメリットを示すことで認定数の充実を図る。</li> <li>・広域的な取り組みによる地元特産品のブランド化など、ブランドのプロモーション方法を検討する。</li> </ul>
	2	中小企業金融対策事業 (担当課：産業振興課)	現状維持	継続推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者のニーズを的確に捉え、効果的な支援策を実施する。</li> </ul>